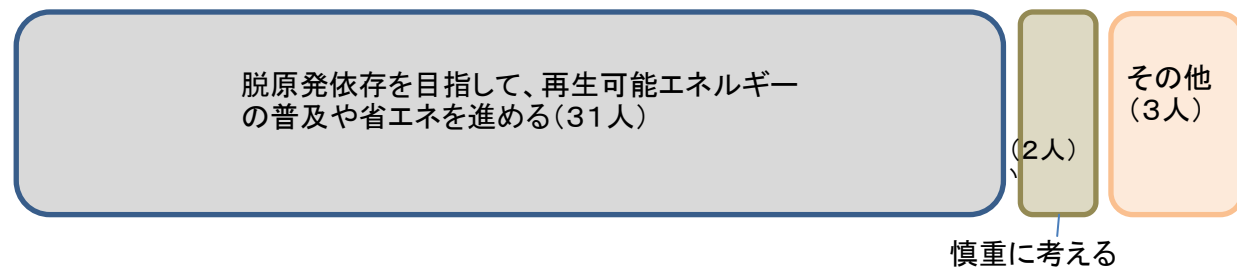


●脱原発依存の社会を目指した市民意見募集の結果について

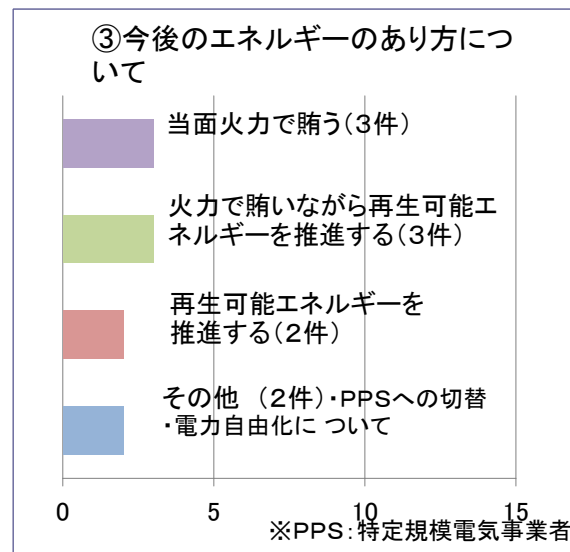
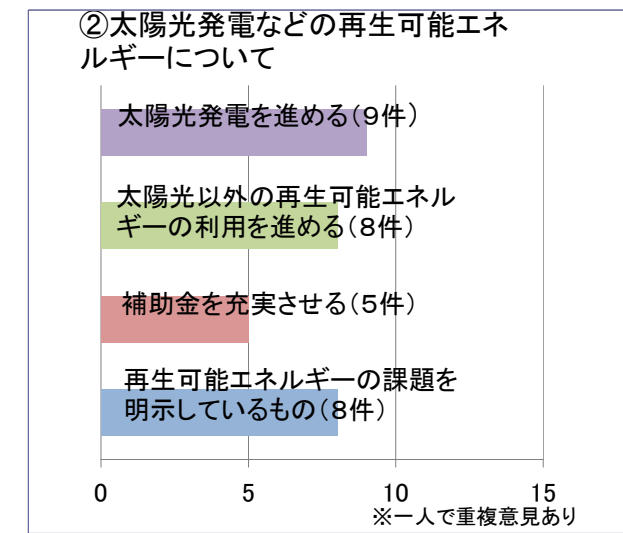
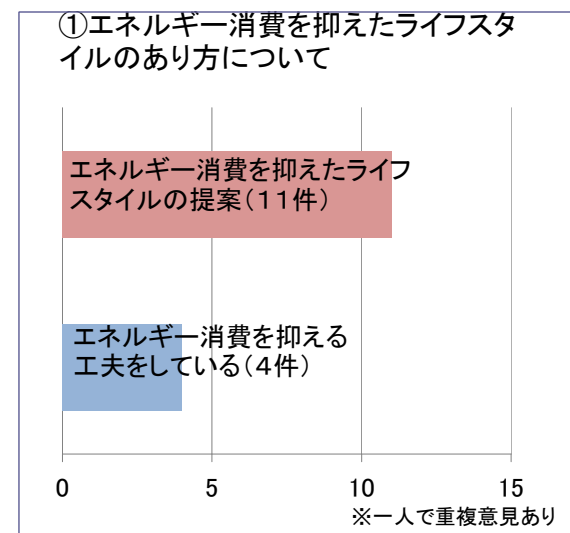
募集テーマ: 脱原発依存を目指して、これからのエネルギーのあり方について考えてみませんか。
 募集期間: 平成23年8月22日～9月22日 意見総数: 36人

■意見の分類



寄せられた意見(抜粋)	
脱原発依存を目指して再生可能エネルギーの普及や省エネを進める	○泊原発で万一の事故が起きれば一次産業と観光を振興の軸に据える北海道は立ち直れまい。脱原発の方針は、豊かな自然をアピールする武器となるのではないか。原子力は過渡的エネルギーと位置付け、脱原発の視点で新エネルギーの拡大を目指すことが肝心です。
	○太陽光・風力・地熱・水力・バイオ等による再生可能エネルギー発電は、日本の持つ知識と技術力で、化石燃料と原子力に、近い将来に取って代わることができると確信している。
	○将来は原発に依存しない社会にするために、再生可能エネルギーを政・官・財・民が英知を結集して、現在は割高なコストを、高性能・低コスト発電の技術開発を加速させることが肝心です。
	○原発と食糧基地との共存は無理です。(中略)地熱発電は、太陽光発電、風力発電などより安定したエネルギーになります。札幌市として是非、地熱発電推進を検討してください。
慎重に考える	○原発依存廃止、再生可能エネルギーの活用は、電力不足になると、莫大な費用がかかろうと即刻、実現に向けて努力しなければなりません。原発を容認していた私たちは、次の世代が原発の放射能被害を心配しなくてもすむ環境をつくっていく責任があります。
	○原子力はなくしましょう。全ての屋根に太陽光パネルを付けることは決まり事にして良いと思います。
	○核廃棄物の溜まった処理をどうするのでしょうか。私は子供たちに美しい日本を残しておきたいです。原発に無駄なお金をたくさん使うのであれば、若い人の雇用に力を入れるべきです。札幌から脱原発の声を上げていきたいです。
	○まず、エネルギー問題は教育として必須だと思います。「子どもたちはコンセンソの向こう」がどうなっているかわかりません。(中略)泊原発の廃炉を強く目指してください。札幌市は60キロしか離れていません。ひとたび事故が起きれば私たちは流浪の民です。
	○今回の原発の原因は現在究明中ですが、原因も分からないうちから脱原発と言うことには疑問が残ります。今回の事故原因を徹底的に反映し安全をとことん追求した原発を造るのが世界から日本の与えられた使命と思っています。

■ライフスタイルのあり方や再生可能エネルギーなどについての意見(集約)



④その他の意見

- 小学生から省エネの教育を実施すべきです。
- 市民の実情に合わせた丁寧な情報提供を行える仕組みをぜひ構築して欲しい。
- 中小タクシー会社に新しい配車システムを導入しエネルギー消費を削減する。
- 電気エネルギーをもっと民営化すべき。
- 子どもまで参加できるエコロジーポイント制度を設ける。
- 省エネ家電や機器について長所・短所などの情報を自治体が伝えてほしい。
- 市民の実情に合わせた丁寧な情報提供を行える仕組みを構築して欲しい。

ライフスタイルのあり方や再生可能エネルギーなどについての意見(抜粋)	
① ス ラ イ フ ス タ イ ル	○クーラーを止め、窓を開け風が抜ける工夫をしています。風がない時は扇風機を使用します。 ○LED電球への切り替え、その他省エネ対策は限りなく実施しています。 ○ラジオ放送の面白さを知るべきです。一日中テレビの音声を聞いていないと淋しいとの声をよく聞きますが、知人にラジオ番組をすすめとても好評です。
② エ ネ ル ギ ー	○太陽光発電の設置促進を一般家庭に広げ、札幌市の建物全部の屋根に太陽光パネルが設置されれば、それは素晴らしいことだと思います。 ○札幌市には、各家庭への「太陽光パネル」の設置を助成していただきたいです。 ○自然エネルギーは自然環境に対して必ず何らかの負荷を与えることとなります。ほどほどにしなければなりません。
③ エ ネ ル ギ ー	○雇用問題においても自然エネルギーの開発により新たな雇用を生み出せる。もっと自然エネルギーの開発に目を向けてもいいと思う。 ○発送電を分離し発電事業者参入を進めることで、民間活力が進み産業活性化に繋がるのではないかと。